

執筆者一覧

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門は東南アジア地域研究／メディア研究。研究テーマは、ナショナリズムと混血者・越境者、災害対応と社会、混成アジア映画。映画に関連した著書に『映画から世界を読む』（京都大学学術出版会、2015年）、編著書に*Film in Contemporary Southeast Asia: Cultural Interpretation and Social Intervention* (Routledge, 2012)がある。混成アジア映画研究会代表。

西 芳実(にし よしみ)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。インドネシアを中心に多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程を研究。主著は『災害復興で内戦を乗り越える——2004年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』（京都大学学術出版会、2014年）。映画関連では「信仰と共生——バリ島爆弾テロ事件以降のインドネシアの自画像」や「世界にさらされる小さな英雄たち」（共に『地域研究』13(2)、2013年）。映画で東南アジア社会の課題共有をはかるシネアドボ・ワークショップにも取り組む。

橋本 彩(はしもと さやか)

早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期修了退学（博士、人間科学）。現在、東京造形大学助教。専門は、スポーツ人類学、文化人類学。博士論文では、雨季明けにメコン川で行なわれるラオス競漕祭の歴史的変容を「伝統」と「スポーツ」の観点から分析。

岡田 知子(おかだ ともこ)

東京外国語大学総合国際学研究院准教授。専門はカンボジア文学・文化。共編著書に『カンボジアを知るための62章』（明石書店、2012年）、『世界を食べよう！』（東京外国語大学出版会、2015年）、翻訳に『追憶のカンボジア』（同出版会、2014年）、『萎れた花・心の花輪』（大同生命国際文化基金、2015年）など。

鈴木 伸和(すずき のぶかず)

視聴覚アーキビスト。2005年から3年間、東京国立近代美術館フィルムセンター事務補佐員として勤務し、映画保存を独学で学び始める。2007年より株式会社東京光音に勤務し、現在に至る。2014年から1年間休職し、文化庁新進芸術家海外研修生としてボパナ視聴覚リソースセンターに勤務。2016年からマラウイ共和国国立公文書館の視聴覚資料保存にも従事している。

平松 秀樹(ひらまつ ひでき)

京都大学東南アジア地域研究研究所連携准教授。京都大学文学部卒、チューラーロンコーン大学大学院比較文学科修士課程修了、博士（文学、大阪大学）。専門は、タイ文学・文化、日タイ比較文学・比較文化、タイ地域研究。タイ国仏教教理三級国家試験（ナックタム・トゥリー）合格。仏教およびジェンダーの観点からみた比較文学・文化研究に関心がある。共著に『東南アジアのポピュラーカルチャー』（福岡まどか・福岡正太編、スタイルノート、2018年）など。

CIRAS Discussion Paper No.77

山本 博之 編著

母の願い——混成アジア映画研究2017

発 行 2018年3月

発行者 京都大学東南アジア地域研究研究所

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-7302 FAX: 075-753-9602